

要請番号 (SL75422C08)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
タジキスタン	H107 助産師		個別	新規	2年	・ 2022/4 ・ 2023/1 ・ 2023/2 ・ 2023/3

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

保健社会保護省

2) 配属機関名 (日本語)

国立医療専門学校

3) 任地 (ドゥシャンベ) JICA事務所の所在地 (ドゥシャンベ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バス で 約 0.5 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は、首都に位置する国立の医療専門学校で、看護師や助産師など12の中級レベルの医療専門職を養成している。約380名の教員、7500名を超える学生が在籍しており、国内最大の医療専門学校である。助産・婦人科学科の4年間の助産師養成課程では、現在30名の教員が1000名以上の学生を指導しており、卒後は全国の病院の産婦人科病棟やヘルスセンター等で活躍することが期待されている。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

首都に位置する国立医療専門学校は、4年間の教育課程を通して助産師を養成している。学生が実践力を身に付けるうえで必要不可欠な助産実習は、市内の病院やヘルスセンターにおいて3年次と4年次に実施されており、同学校が雇用する実習指導者が学生の指導にあたっている。しかし、妊娠・分娩ケアに関する最新の知識・技術が実習内容に反映できていないうえ、効果的な実習指導方法に関する知識・技術を教員が持たないため、実習指導者への指導が適切に行われていない。このような状況の中、同教育課程の質の向上を目指し、特に助産実習に関する教育内容のアップデートと最適化、教員や実習指導者の能力向上、指導方法の改善に協力するJICA海外協力隊の要請が出された。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 助産実習の教育内容や指導方法の現状を分析する。
- 助産実習の教育内容や指導方法の改善に向けて、助言する。
- 助産実習に関する勉強会の開催等を通して、同僚教員・実習指導者の能力強化を図る。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

活動に必要な教育用資機材、その他の設備。看護教育実習センター: 比較的近代的な機材あり(日本の支援なし)。代表的なものは、各種シミュレーター(新生児の心肺蘇生、分娩、内診、婦人科診察、注射)。

4) 配属先同僚及び活動対象者

- 助産・婦人科学科長: 40代女性(経験19年)
- 助産・婦人科学科アシスタント: 50代女性(経験34年)
- 助産・婦人科学科アシスタント: 20代女性(経験4年)
- 教員: 医師
- 実習指導者: 医師7名、助産師1名

5) 活動使用言語

ロシア語

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

英語(レベル:B)又はロシア語(レベル:C)

【資格条件等】

[免許]：(助産師)

[学歴]：() 備考：

[性別]：(女性) 備考：当地の文化風習により

[経験]：(実務経験) 15年以上 備考：同僚への指導が必要なため
(指導経験) 備考：助産師教育または看護教育の経験

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(地中海性気候) 気温：(-5～45℃位)

[電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水道]：(安定)

【特記事項】

生活使用言語としては国語としてのタジク語、もしくは民族公用語としてのロシア語となる。
訓練言語はロシア語となる予定。